



大震時火災延焼シミュレーターを用いた 防災教育の一例を紹介します

愛媛大学 防災情報研究センター 准教授 二神透

日本における潜在的リスク

フォーラム終了後、受付会場にて

背景

地震大国 日本

直下型地震 阪神淡路大震災など



木造市街地大火
が発生する



地震の二次災害



ではどのような対策が必要か？

現状

ハード対策は十分に行われていない...



様々な状況(出火点、風向、風速を想定した地震火災の状況を再現)できます。

自分で、好きな地域のデータを取り
シミュレーションが実行可能なソフトです

学校周辺・子供たちの住居周辺のデータ
が即時に採取できます

子供たちが自ら操作できるソフトです

ソフトウェアを提供します。WindowsXP以上で操作可能です

防災教育に活用できます



避難のイメージが具現化できます
リスクコミュニケーションの大切さが学べます

学校関係者向け